

J S Q C 規格の翻訳に関する提案書

翻訳する規格の 番号・名称	JSQC-std 32-001:2013 日常管理の指針 (Guidelines for Daily Management)
翻訳する言語	英語
翻訳のねらい	多くの日本企業がグローバル展開を進める中、国内で行ってきた方針管理、小集団改善活動、日常管理などの具体的な進め方を海外の拠点に理解・実践してもらうことが必要となっている。方針管理や改善活動については、JIS Q 9023 や9024が発行されており、その英訳版が利用できるが、日常管理についてはISO やJISが存在せず、各社が必要に応じて独自に資料を作成しているのが現状である。このような日本企業の取り組みを、品質管理を専門領域とする学会として支援するため、JSQC-Std 32-001:2013「日常管理の指針」を英文に翻訳し、発行することが必要である。また、日本企業に限らず、日本の品質管理の方法論を広く世界に普及するためには、JSQC-Std 32-001のISO化が望ましく、このためのベース文書となると考えられる。
翻訳によって期待される効果	(1) 日本企業が海外展開を進める際、国内における日常管理のやり方を海外拠点に説明・教育することが容易となる。 (2) ISO規格としてNWIPを行うためには、5カ国以上の国の賛成が必要であり、このようなコンセンサス作りを行う上で役立つ。 (3) ISO規格等を通して日常管理のやり方が国際的に普及することで、より良い品質の製品・サービスを現地で調達することが容易となる。
発行までのおおよそのスケジュール	2014年 6月 翻訳原案の完成 2014年 7月 標準委員会による確認 2014年 9月 理事会による承認 2014年10月 発行
翻訳作業委員会の構成	委員長：安藤之裕（技術士） JSQC-Std 32-001原案作成委員会委員 委員：中條武志（中央大学） JSQC-Std 32-001原案作成委員会委員 平林良人（(株)テクノファ） 標準委員会委員長 山田 秀（筑波大学） JSQC-Std 32-001原案作成委員会委員
翻訳に要する費用の計画	翻訳等の外部委託費用：外部資金を活用する。 作業委員会委員手当：支払わない。 作業委員会交通費：支払わない。 作業委員会会合費：お弁当代およびコピー代（30,000円） 費用合計：30,000円
頒布によって得られる収入の計画	予想頒布数：200部 単 価：2,000円（ただし、購入数による割引を行う） 収入合計：300,000円
翻訳を提案する委員会、部会、研究会、会員	標準委員会